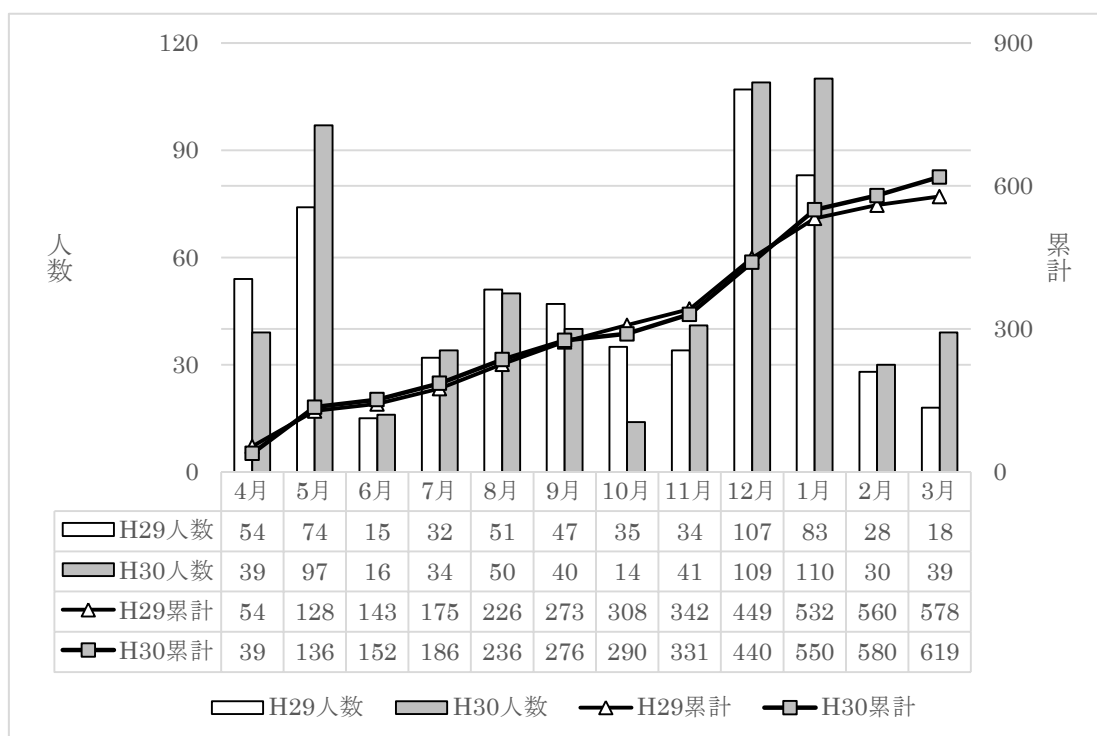


# 平成 30 年度 歯科在宅当番医制事業実施報告

## 1. 受診者数推移および累計

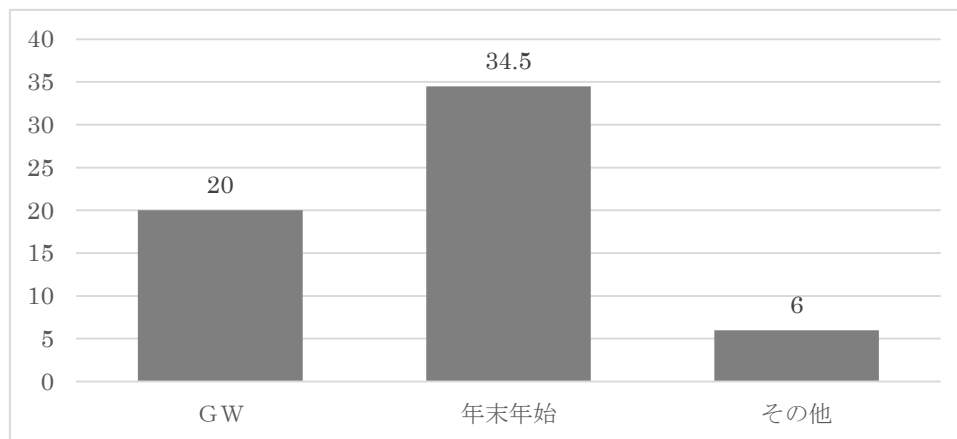


平成 30 年度の診療総日数は 71 日で、受診者総数は 619 名であった。ゴールデンウィークおよび年末・年始は複数機関での対応のため、総医療機関数は 78 機関であった。

月別に受診者数をみていくと、5月、12月、1月が多く、これは例年と同じ傾向にあった。平成 30 年度の特徴としては、平成 29 年度の 578 名に対し、平成 30 年度は 619 名と 41 名の受診増であったが、平成 29 年度は受診者数が例年よりも少なかったため、平成 28 年度以前と比較すると同等数の受診者数であった。(平成 28 年度の受診者数は 621 名)

平成 30 年度の受診者内訳は男性 302 名、女性 317 名で、例年と比較すると男性と女性の受診者数が逆転した。(平成 29 年度の受診者内訳は男性 295 名、女性 289 名)

## 2. 1 医療機関あたりの 1 日平均受診者数



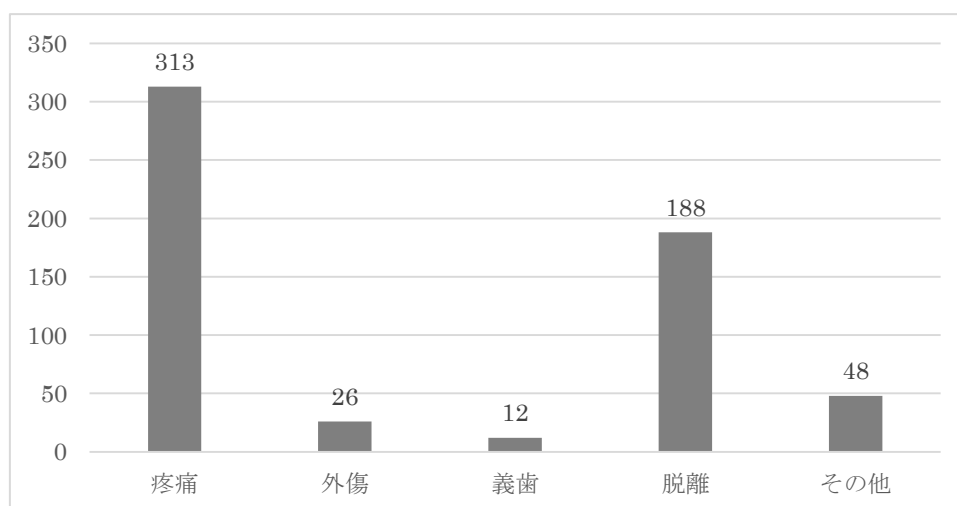
受診者数の最小は0名が1日、最多は51名であった（12月31日の2機関の合計）。1日あたりの受診者数が10名を超えた日は16日あり、ゴールデンウィークと年末・年始がそのうちを占めた。

ゴールデンウィーク期間にあたる3日間では79名が受診し（5/3:23名、5/4:37名、5/5:19名）、平成29年度の60名に対し、19名増加した。

年末・年始にあたる4日間では177名が受診し（12/30:36名、12/31:51名、1/2:40名、1/3:30名）、平成29年度の138名に対し39名増加した。

ゴールデンウィークおよび年末・年始の期間を除く1日平均受診者数は6.9名で平成29年度の6.0名に対しやや増加した。

## 3. 主訴別分類



主訴別に来院理由をみると、「疼痛」が最も多く313名で、次いで「脱離」が188名であった。これは平成29年度と比較し、同様の傾向であった。